

令和4年3月、白根高校と南区が地域の発展及び人材の育成に向けた連携・協力に関する協定を締結。さらに翌年3月には、同校とにいがた南区創生会議（24の民間団体から構成された任意団体）が連携協定を締結し、学校と行政、地域がより強くつながりました。南区地域の皆様の協力・支援により、充実した連携活動ができています。この度キャリア教育の充実に尽力し、顕著な功績が認められた学校・組織に表彰される「第17回キャリア教育に関する文部科学大臣表彰」を受賞いたしました。日頃の感謝と学びを地域に還元する意を込めて、この1年間の成果を皆様に伝えます。

令和6年度 白根高校「総合的な探究の時間」

「総合的な探究の時間」とは、教科書を使わず、変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す教科です。

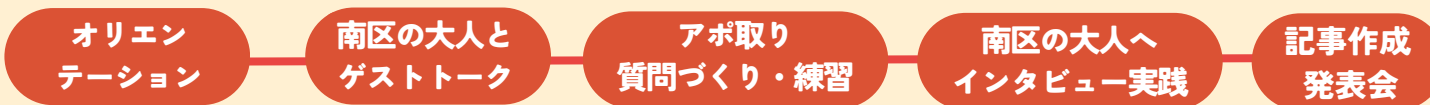
白根高校では、探究を通じて身につけたい力の柱として「コミュニケーション力」を掲げ、3年間を通して「聞く力、話す力、協働する力、他者と自らかかわる力、考え表現する力」を育成する授業を行っています。

1年生では、地域理解を軸としたゲストトーク・記事作成、2年生では、地域で活躍する人材を紹介する「仕事人の図鑑」作成の中で、たくさんの南区の大人と関わりながら、探究学習を進めています。

●1学年探究の流れ



●2学年探究の流れ



令和6年度「しろみな塾」(提案編)(実践編)

「しろみな塾」とは、地域活動の担い手の若返りを図るために、地域課題に向き合い、考え、行動を起こせる若者を育成することを目的に、白根高校の生徒を対象に白根地区公民館が主催している講座です。講座の中で、南区内の地域から与えられた課題(ミッション)を解決するアイデアを考え(提案編)、さらに翌年度、アイデアをベースとした地域実践を行います(実践編)。

今年度の実践編は、地域の小学生と一緒に「大鷲夜まつりもりあげ隊」を結成し、遊びの屋台を運営しました。また、提案編では、「臼井地区まつりにもっと若い人が行きたくなるようなリニューアル案を考えてほしい」という、臼井地区まつり実行委員会からのミッションに挑みました。

●しろみな塾の流れ



南区の大人にインタビュー



高校生のアイデア発表！

発表会、みんなでパシャリ

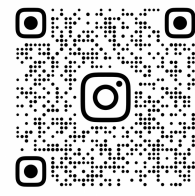


大人も一緒に探究をつくっています！



しろたんDIARY@新潟市南区白根高校周辺の日常
インスタグラムで情報発信中！

探究学習、しろみな塾、全校ボランティア...などなど
白根高校が地域と連携した活動を発信しています！ぜひフォローお願いします！



SHIROTAN_DIARY